

早期の整備を！ 横井運動場公園施設



むらた ちづこ 議員

Q 平成29年度に整備基本計画を策定後↓年次計画↓国の許可↓予算要求↓実施、の流れからまだ未着手である。人工芝サッカー場に必要施設の整備は。

A 当面の対策として、11月28日から簡易で持ち運びができる更衣用テントを配備した。

Q 仮設トイレの対策は。

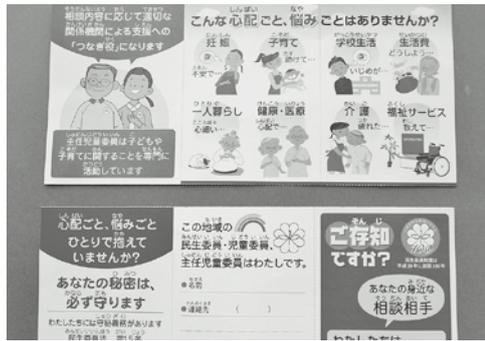
A 新たな常設型トイレの設置はできないが、既存トイレを更新し場所の変更は可能。女性も安心して活用できるように検討する。

Q 市の主催・共催の大会でのレンタルトイレの設置はできないか。

A 費用や事業内容、利用状況等を把握した上で検討する。

民生委員協力員制度を

Q 民生委員は児童委員も兼ねており、職務が大きく膨らんでいる。負担軽減と新たな地域福祉の担い手の掘り起こしを目的に「民生委員協力員制度」の創設を。



ますます増え続ける職務、負担軽減策を提言

A 関係する皆さんの意見を伺いながら検討する。

Q 地域包括ケアシステムを推進する上で高齢者、障がいのある方、子どもまでの総合窓口が必要と考える。地域にある高齢者安心センターの夜間・休日の常時窓口の開設を、段階的に全市へ。

A 6カ所だと専門職20人の人件費が1億円を超え、課題が大きい。ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムに登録してほしい。

いじめや不登校のない 学校を！



むらた ちづこ 議員

Q 文部科学省の調査で、いじめや不登校の増加が指摘されている。島田市の実態はどうか。

A 平成27年度末の不登校者数は小学校13人、中学校30人だ。いじめの認知件数は小学校34件、中学校17件である。

Q 不登校に対する対策はどうか。

A 不登校児童生徒については、早期対応として、例えば3日連続欠席が続けば、家庭訪問をして様子を伺う。復帰支援については、スクールソーシャルワーカーを活用したケース会議などで、学校が家庭や外部機関と連携し、登校しやすい環境づくりに配慮している。

Q 学校に行けない子どもたちが通うチャレンジ教室（適応指導教室）がある。指導員の継続的な雇用を求めるが、どうか。

A 教育センター長以外の指導員の継続的な確保は難しい。

Q いじめに対する対策はどうか。

A 未然防止・早期発見のため、定期的なアンケート調査を実施。いじめ問題が発生した場合には、早急に事実確認し、組織的な対応を行い、深刻化させないように指導している。

Q 学校と多様な機関が連携するスクールソーシャルワーカーの増員が必要だが、どうか。

A 重要性は十分認識している。受け持つ時間を増やすよう検討したい。



教育センター内にあるチャレンジ教室

これでよいのか 保育園建設地の選定



ひらまつよし のり
平松吉祝 議員

- Q** 六合公民館駐車場に保育園を建設するという、市民を置き去りにした計画が進められている。市長の強引な進め方は、必ずや将来に禍根を残すことになる。地元住民への意向の確認は、先の9月定例会では「各自治会長やコミュニティ会長に説明した」との答弁だったが、説明しただけで意向の確認になるのか。
- A** 5月27日に、保育園建設について説明会を開催した。
- Q** 各自治会長やコミュニティ会長は住民の総意として承認したか。
- A** 個人としてのご意見を聞いた。
- Q** 六合福祉会が保育園建設を決定したときから、市に提案書提出までの経過は把握しているか。
- A** 最初口頭で提案があり、(市)内部で検討して、書面を提出いただいた。
- Q** 六合福祉会の総意の決定か。
- A** 理事長から、理事会で話し合いをしたと聞いている。
- Q** 理事会で決定したとのことだが、議事録はあるか。
- A** 正式に決定していないので、理事会にかけられないと聞いた。
- Q** 市内の保育園・幼稚園への説明では理解は得たか。
- A** 反対意見は特にない。
- Q** 認可保育所並みに補助される企業主導型保育事業所の可能性はどうか。
- A** 計画は聞いているが、まだ計画段階である。



みんなで守ろう、六合公民館駐車場！

4項目につき 今後の市の取り組みは



やまもとたか お
山本孝夫 議員

- Q** ①自治基本条例 市長は任期内に制定したいと答弁していたが、先延ばししたのはなぜか。
- A** 制定後のまちづくりを見据え、市民の意見を聞くためだ。
- Q** ②財政運営 市長就任後の財政運営をどう見ているか。
- A** 総合計画の実現を図りつつ、財政健全化を保つことができた。増収を見込んだ施策として、平成29年度の予算編成でどこどこに力点を置くか。
- A** 島田金谷インターチェンジ周辺の賑わい交流拠点などの土地利用基盤整備に力を入れたい。
- Q** ③防災対策 新たな取り組みはないか。
- A** 島田市国土強靱化(きょうじんか)地域計画の策定を考えている。
- Q** し尿処理業者と災害時対応で協定を結んでいるか。
- A** 市内6業者のうち5業者と締結しており、年度末までに災害廃棄物処理計画を策定する。
- Q** 組織強化のため地域に防災団を創設したらどうか。
- A** 意義ある提案だ。研究する。
- Q** ④旧金谷中跡地利用 「市が用地を整備し、施設建設は県が行う。」と約束したが、県は予算を付けず民間に任せようとしているのはおかしくないか。
- A** 県も責任を持って進める。県と市の分担に変更はない。



活用したい災害時のトイレ対策の手引き

稼ぐまちづくりへの 取り組みの充実を！



しみずただし 議員
清水唯史

Q 観光で稼ぐ広域観光の中心となる中部志太榛原地域DMOの組織構成はどのようになるか。

A マーケティング責任者を民間から公募し、行政・民間一体の組織づくりや、民間職員の採用などを専門委員会を検討中である。

Q 観光庁は口ケ誘致をDMOの業務として期待している。考えは。

A 専門職の新規雇用も期待できるため、フィルムコミッションなどから意見を聞いていきたい。

Q 陸上競技団体の合宿実績を生かし、島田市をPRするためのオンラインピック事前合宿誘致の活動を提案するが、いかがか。

A 公式陸上競技場を所有していないため誘致活動は困難であるが志太3市での広域的誘致の方向性は可能性がある。

Q 川根地区を中心とした集落ネットワーク圏整備支援は、地域が稼ぐため、他地区でも進める考えはあるか。



台宿により好成績を挙げたチームの記念碑

A 金谷地区においても、大代地区の自然、茶草場農法の世界農業遺産、にぎわい交流拠点施設などを連携した観光を視点の取組みは、地域の合意形成により支援することはできる。

DMO 観光客を誘致するための戦略策定、マーケティング、プロモーション、品質管理などを行う事業組織。
2011年11月から日本版DMOの設置が全国で推進され始めた。

「行政経営戦略」 市長の経営方針は



ふじもとよしお 議員
藤本善男

Q 市が取り組んでいる行政経営戦略では、市長の経営方針が見えない。具体的な内容を伺う。

A 試行段階なので公表していませんが、「市民の幸福感向上、安全・安心な生活を確実とする取り組みの推進をベースに、市民とともに夢を描く経済対策、次世代につながる地域づくり・人づくりを実現する」という内容である。

Q 経営方針を職員に浸透させるため、市長の考えを短いメッセージで庁内に掲示できないか。

A 経営方針の掲示については、どこに置るか検討させてもらう。

Q 効率的・効果的な行政運営のため、事務事業評価制度の創設を目指した理由は何か。

A 総合計画、予算編成、目標管理制度等の連携を考えている。

Q 外部委員を検討しているようだが、市として外部の知見をどのように活用するのか。



市民意見を行政に反映する「車座トーク」

A 職員にない視点で事業を見てもらうところがポイントだ。

Q 市民との協働体制の構築で、今年度中に自治会対象の車座トークを推進する狙いは何か。

A 総合計画への意見反映と、「協働のまちづくり」の浸透である。

Q 市議会報告会にも市民意見が寄せられる。権限を認め、部長からも市の考えを示して欲しい。行政に聞かないとわからないことは、部長に声をかけてほしい。

島田大祭検討委員会の 設置が急務！



もり しんいち 議員

Q 3年前、島田大祭保存振興会な

どの関係者や市、それに一般市民など第三者を入れた検討委員会の設置を市が進める必要性があると提案したが委員会は設置されなかった。その理由は何か。

A 前回の大祭における諸課題につ

いて検討する委員会を4回開催した。しかし、その中に市民などの第三者は入っていない。それは、島田大祭保存振興会の正副役員会で第三者を入れた委員会の必要性に理解が得られなかったためだ。

Q 次回ではなく6年後をどうする

かのスパンでよい。現状の課題解決のため、市民・有識者など第三者も入れた検討会の設置にすぐにも取りかかるべきだと思

A 大井神社と保存会の皆様が中心

となり実施している伝統ある祭りなので、市が出るのは難しい。しかし、その気運はできてきていると思うので、検討委員会を

持っていていたらと願っている。

Q 3日目の出発時間を遅らせ、待

ち時間を減らす改善を提案してほしいが、いかがか。

A 同感だが、実行となると難しい。

祭り関係者からの声を期待する。

Q 大祭日程の公表が9月下旬と遅

過ぎるが、改善できないか。

A 日程全体の最終的な手打ちが行われたのが8月の末ということ

で、早めにしたいが厳しい。

Q 3年をくりとする実施計画書

に、金谷庁舎跡地利用事業が昨年

年に引き続き掲載されている。

A 具体的に示す内容はない。一旦

停止している。

Q 市民会館の解体が終わった。プ

ラザおおるりも、建築後30年

以上を経過して、市の老朽化基準時期を迎えている。これら施設の計画動向を伺う。

A 市役所内に検討委員会を立ち上

げる。

Q 実施計画書に本庁舎建て替え事

業が掲載されている。これについて先の定例会では「合併特例債活用期間の平成32年度末を目安とする。以後では市単独の事業化は難しい」旨の答弁があったが、32年度末までの建て替えが可能か否かを再度伺う。併せて事業費の腹積もりも伺う。

A 平成32年度末は難しい。新病院

の概算事業費が確定した時点で、この事業費を発表する。

庁舎建て替えを まちづくりを生かせ



さの よしとも 議員

Q 建て替える場合の敷地は現在地

か、それとも新たな場所か。

A 現在地か、その周辺が妥当。

Q 地価の安い別の場所に移転し、

跡地に都市的空間を構築。定住者を呼び込んで「まち」の活性化を促すなど、財源確保に向けた市の独自策は打てないか。

A 現在策定中の次期総合計画の中

で、提案を含めて柔軟的に考える。



鹿島踊り（横井町公会堂前）



建て替えを計画する市役所庁舎

農・自給、千年の森、 初倉の道路



あおやま まさとら 議員
青山真虎

Q 今の緑茶化計画。来年度は茶業振興室ができる。中身はあるか。

A 出口対策をやっていききたい。

Q 地産地消の推進として、需要と供給の調整を行政が担ったり、各町内の耕作放棄地を住民農園に推進してはどうか。

A 実際に取り組んでいる地区がある。畑の所有者の理解次第である。

Q 山に誇りを持った市民を増やすため未代まで続く「千年の森」をどこかに作らないか。

A 計画は無い。

Q 大井川が漏水すると農林業にも影響するリニア新幹線工事について、一度でも抗議したか。

A 静岡市等がJR東海との交渉権を持っている。要望を出した。

初倉の道路に予算を!!

Q 初倉の道路は凹凸や未舗装が特に目立つ。しっかり予算付けして整備する必要がある。どうか。



私たちは子や孫に何を遺せるか問われている

A 旧初、大柳、中河の未舗装については今後も整備していく。

Q 広大な畑作地帯に住宅が点在しているが、街灯が少ない。市の責任で街灯の設置はしないか。

A 30分間隔の設置が一般的だ。

Q 標識・停止線のない所の整備は。

A 空港周辺の環境整備に過去百億円投じている。初倉のインフラ整備が遅れていることはない。

Q 舗装しない場合、理由が必要だ。徐々に舗装を進めていく。

市産業発展へ 新たな挑戦



すぎの なおき 議員
杉野直樹

Q 産業支援センター「おびサポ」の実績は、どのような方法で評価するのか。

A 相談者の売上アップや創業件数、専門家や事業者とのマッチング件数、専門的なセミナーへの誘導件数、相談者の満足度、リピート率などを総合的に評価する。

Q 島田市において、新たな産業発展へのきっかけとして、産業集積を提案したい。他の言い方は、産業クラスターとも呼ばれているが、知っているか。

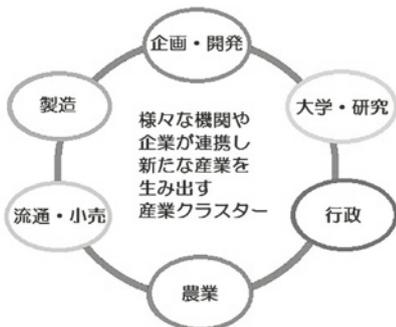
A 特定の地域に多数の企業が立地し、各企業が受発注取引や情報交流、連携等の企業間関係を生じさせている状態のことと解釈している。

Q 実現させるためには、まずは市内企業の情報を収集することだが、どこまで市内企業の情報を持っているか。

A 全ての市内企業の情報を把握している状況ではない。

Q 島田市は、社会に出てから学ぶ場所が少ない。学ぶ場所として、社会人大学の誘致を提案したい。大学そのものを誘致するのは大変だが、サテライト的なキャンパスなら可能ではないかと思うがいかがか。

A 以前から「大学誘致を」という要望は、市民の皆様から何度もも聞いている。今後、検討していきたい。



産業クラスター イメージ図

これまでの 市政運営の評価は？



ふくだ たかお
福田正男 議員

Q これまでの実績について、市長自身の評価はどうか。

A マニフェスト30項目に関する市政への取り組み実施状況評価の実施率は96・7%で、着実に市政を運営してきた成果であると自負している。

Q 市民会館の跡地利用はどうか。

A 当分、本庁舎やプラザおおるりを利用される方々の駐車場とする。

Q 市役所の老朽化が目立つ。今後の方針を伺う。

A 市役所は建築から53年が経過しており、電気給排水等の老朽化が進んでいる。庁舎機能の更新を図ることは重要な課題であると認識している。現時点で更新の時期や事業費、財源等の具体的な計画を申し上げる段階にはないが、今後庁内組織を立ち上げ検討を進めていく。

Q 私が市役所の建設費用を試算したところによると、庁舎必要面積を1万平方メートル、単価52



当面駐車場として使用される市民会館跡地

万円として52億円、市民会館の客席数を1000席として約25億円、合わせて77億円ほどかかる。財源として調達可能なのか。

A 財源についても、これから立ち上げる検討委員会で協議することになる。

Q 旧金谷中学校跡地の今後の活用方針は何か。

A 民間の事業プロポーザルを念頭に、県と共に進めていく。

ふるさと寄附金の 現状と今後は



いとう たかし
伊藤 孝 議員

Q 寄附は昨年の同時期と比較して、どれぐらいの件数・金額になっているのか。

A 昨年度、寄附件数が792件、寄附金額が約1020万円、今年度、1248件、3442万円と、大幅な増額となっている。

Q 件数・金額が増えた要因は何か。

A 大きな理由は、お礼の品が昨年の50種から200種までに増えたことである。

Q お礼の品が増えた要因は何か。

A 職員が非常にながらばって、毎日、企業回りをしていることが大きな理由の一つだ。

Q 「がんばった」理由は何か。

A 平成28年度、1人専任の嘱託職員を増員した結果である。

Q 他市を見ても人員が多ければ金額も多くなるようだが、人員を増やす考えは無いのか。

A ふるさと寄附金制度全体が、今、伸びているが、今後も引き続き伸びていくのかも併せて、人員については検討していく。



地元企業の最先端技術により開発された製品

Q 一番多い寄附額はいくらか。

A 一番は、1万円から3万円未満である。30万円から40万円未満の高額寄附も、今年31件と飛躍的に伸びている。

Q 30万円から40万円未満は、どのような返礼品が人気なのか。

A 地元企業の最先端技術により開発されたゴルフバッグ類が、大変人気になっている。

11/19
(土)

議 会 報 告 会



平成28年度 第2回

追跡しました 皆さんの質問

議会報告会を市内3会場（島田市役所会議棟・参加16人、金谷南地域交流センター・参加15人、島田市役所川根支所・参加14人）で開催しました。市議会からの報告の他、市政に関する意見や市議会への要望などの意見交換を行いました。

会場での質問は必要に応じ調査を行いました。そのうち3問について、市からの回答と市議会の対応をお知らせします。

Q1 国道1号線藤枝バイパス・東光寺インターチェンジのフルインター化は？

市からの回答は…

平成28年度から4車線化が事業化された。市としても、浜松方面へ行くことができる東光寺インターチェンジのフルインター化を継続的に要望していく。(建設課)

市議会はこうします

市議会として、先の6月定例会で「藤枝バイパスと島田金谷バイパスの4車線化の意見書」を採択し、この中にも要望を盛り込みました。

今後も、市からの現況や取り組み状況の説明を求めています。

Q2 自治基本条例は、反対の立場の講師も招へいできないか？

市からの回答は…

これまで市民会議で検討し、素案を作成した。今、市民意識調査をやっている。新たに、講師を招へいしての市民向け説明会の計画はない。(地域づくり課)

市議会はこうします

条例が議案として提出される前に、市議会の中で検討する必要があります。様々な考えを持つ市民や識者から意見を聞く機会を持つかについては、今後検討していきます。

Q3 河川敷にあるスポーツ施設の管理方法の開示を。

市からの回答は…

市が管理する川根地区の施設は、川根体育館、川根野球場、家山ふれあいスポーツ広場と身成スポーツ広場である。

河川の神座から上流部は、県土木事務所が管理している。周辺道路の草刈りは市が行うが、不明な場所等については市に相談してほしい。(スポーツ振興課)

市議会はこうします

利用者が協働の精神で自主的に協力している現状ですが、市の管理責任の明確化を求めています。

このような質問・意見も寄せられました



途中からコンクリート脚となっている蓬莱橋

政務活動費の使われ方について、市民はよくわからない。

新市民病院ができた場合の渋滞緩和策はあるのか。

蓬莱橋のコンクリート脚きぼくを擬木のポールにできないか。

六合公民館駐車場に保育園を造る計画の進め方に疑問を持つ。

若者定住支援策を積極的に行ってほしい。

光ファイバ整備は川根地区全体が対象か。

参加者の皆さん、ありがとうございました。

調査しました！ あのまち、このまち



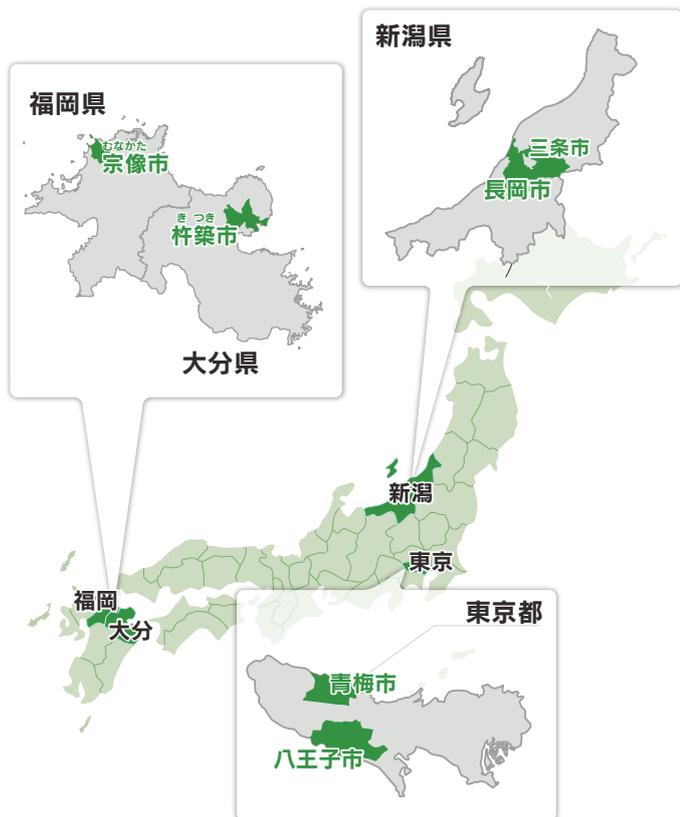
所管事務調査とは？

地方議会の常任委員会は、その部門の事業・事務に関する調査を行う権限を持っています。

所管事務調査では、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは異なり、委員会が自主的にテーマを設定し、調査を行います。

島田市議会に設けられた3つの常任委員会でも、各々のテーマを設定し、国内各地の自治体を訪問し調査を行いました。

他の自治体では、どんな事業をしているのでしょうか？



地域に溶け込んだ介護施設

●10月12日・新潟県長岡市

地域包括ケアに向けての

サポートセンター事業

サポートセンター 摂田屋は、平成22年に、従来の福祉施設とは異なる選択肢の提示をコンセプトに「小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」、「認知症対応型共同生活介護」、「高齢者在宅支援住宅」の4機能を併せて設置された施設です。

テレビ電話やタブレット端末等を積極的に活用し、利用者と職員とのコミュニケーションや、職員間のリアルタイムな情報共有を図り、24時間365日の継続的なサービス提供の実現を目指すなど、島田市も学ぶべき取り組みでした。

●10月13日・新潟県三条市

いじめや不登校を減らす

「小中一貫教育」事業

三条市では、市内全中学校（9校）を対象に「小中一貫教育」を

実施しています。山間部では連携型（学校間を教員や児童生徒が移動）、都市部では一体型（学校敷地が同一）で実施されています。

一貫教育への移行では、まず都市部で試験的に実施した後に全校で実施しています。学校の業務負担は移行時に増えますが、次第にスムーズになるとのことです。

これにより中一ギャップは緩やかにになり、いじめや不登校も減少傾向になる成果があるとのこと、島田市も参考にしたい事業でした。



摂田屋の施設長から理念などの説明を伺う

道の駅の建設で市にも大きな恩恵が

●10月12日・福岡県宗像市

「道の駅むなかた」運営調査

九州地区で最も高い売上げ実績のある「道の駅むなかた」は商工会・農協・観光協会・漁協・宗像市が出資し、併設するレストランとパン工房を合わせ年間20億円の売り上げがあります。

建物を建設した宗像市には、毎年2070万円の家賃と1500万円の利益配当があり、休日には、約200台の駐車場が満車になる盛況ぶりです。

島田市は現在、新東名のインターチェンジ周辺に賑わい交流拠点の整備を予定しており、大変参考となる事例を調査することができました。

●10月13日・大分県杵築市

世界農業遺産の活用調査

国東半島宇佐地域6市町村に位置する「クヌギ林とため池が広がる国東半島・宇佐の農林水産循環」



事業成功の秘訣を伺う（宗像市）

が、世界農業遺産に登録されています。島田市も「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に登録されているため、産業振興や地域振興への活用について調査しました。

杵築市の調査では、「認知度の点で難しさがあるため、残念ながら農産物の販売増につながるような実績は出ていませんでした。しかし、杵築市では次世代が地域に誇りを持てる教育に活用しています。」とのことで、世界農業遺産への新たな理解をすることができました。

「協働のまちづくり」のモデルに

●11月9日・東京都八王子市

市民活動支援センター事業

平成29年度島田市に設置予定の市民活動センターの参考として「八王子市市民活動支援センター」を視察しました。

市民活動の活性化と地域の発展のために発足した「八王子市民活動協議会」は、支援センターの業務委託を受け、市民活動への参加のきっかけづくりや、中高年の社会貢献の講座と人材育成、地域フアンド事業などを行なっています。行政だけではなく、市民が中心の協議会が市民活動支援を支えていることを実感しました。

●11月10日・東京都青梅市

市役所新庁舎建設事業

青梅市は、平成12年度に「庁舎建設検討特別委員会」を設置し、市議会や市民の意見を聞きながら新庁舎の建設を決定しました。



市民活動の拠点となっている支援センター

新庁舎は総事業費約89億円で建設されました。一階に市民課や保険年金課などの窓口がまとめられ、視覚・聴覚などの障がい者にも対応した設備があります。災害拠点としての支援ルートを確保しつつ、地中熱や太陽光発電・雨水再利用など、環境にも配慮していました。島田市役所新庁舎建設への大きな参考事例となりました。

議会活動レポート

1/30
(月)

「見やすく・読みやすく・親しみやすい」 議会広報紙を目指して

ようこそ！茨城県つくばみらい市議会議会広報特別委員会の皆さん

茨城県つくばみらい市議会議会広報特別委員会が「しまだ議会だより」編集の視察に来島しました。

つくばみらい市議会も議会広報紙の改革に取り組み、「みらいのとびら」と名づけた議会広報紙作成しています。同じく改革に取り組んできた島田市議会に視察に来ていただいたことを、大変うれしく思いました。

両市の議員は充実した紙面作成の工夫について意見を交わし、島田市議会にとって有意義な機会となりました。



編集後記

平成28年第4回定例会では、議長を除く全員が登壇し、さまざまな視点から市当局の考えを質しました。また、議会報告会で出された意見等を各常任委員会で審議しました。

さて、全国的な問題となっている政務活動費は、島田市議会では議長と事務局の厳しいチェック体制の下に交付されていますが、改めて適正な執行・透明化に向け議会運営委員会で見直しを検討しています。

本年も、委員一同「市民目線の議会だより」の充実に努めてまいりますのでよろしくをお願いします。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 村田千鶴子
- 【副委員長】 山本 孝夫
- 【委員】 杉野 直樹 伊藤 孝
- 桜井 洋子 仲田 裕子
- 八木 伸雄

2月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15	16	17	18
			本会議 (初日)	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	常任委員会 (午前・総務生活)	
19	20	21	22	23	24	25
					本会議 予算説明会	
26	27	28	3/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (代表質問)	本会議 (個人質問)	本会議 (個人質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務生活)				
19	20	21	22	23	24	25
	春分の日				本会議 (最終日)	

☆開会時間は…
本会議 9:30
常任委員会 2/16、17 9:00 13:30
 3/10~14 9:30

あなたのパソコン・スマホ・タブレットでも視聴できます。

青色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。